



NPO法人防災ネットの井浪沢理事長から「120点です」とお褒めの言葉もあったほど、活発な意見交換が行われた「しんまち防災白狐隊」のワークショップ

まずは地区内を知ること 防災ワークショップ開催

しんまち防災白狐隊（田中幸作隊長）を対象にした岩手県主催の防災ワークショップが1月29日、新町自治会館で開催されました。地域でどのような災害が想定されるか把握し、必要な備えを専門家の意見を交えて検討するのがねらい。グループ演習では、新町地区の地図を広げ避難場所や病院などをマーキング。冗談を交えながらも真剣な眼差しで取り組み、班ごとに避難方法などを発表した後、意見交換をしました。参加者は、災害に備えての非常持ち出し品の準備、避難所の確認やご近所での声掛けなどの大切さを改めて認識しました。

ワークショップは2回開催の予定で、今回は今回の意見交換での問題点の対応や、自主防災組織の活動について話し合われます。



15分の短い時間に50問のクイズに取り組む参加者と初代チャンピオンを喜ぶ「ひとネット倶楽部」のメンバー

どんだけ知ってるかな 初めての雑学王選手権

新春グリーンテージお年玉企画「チーム対抗雑学王選手権」は1月31日、グリーンテージで開催されました。5人1組で20チーム100人が、町についての知識を競いました。「1月号の広報の表紙の写真は？」から「町で一番標高の高い場所は？」、「町のシンボルの花は？」など町のことをもっと知ってもらおうと幅広く出題。参加者の星野順子さん（40・星野）は「普段何気なく見過ごしていることが多いと実感。町のことを改めて見直す良い機会でした。もっと勉強して再挑戦ですね」と新たな企画を喜ぶと共に、早くも次回開催に期待を膨らませました。

いつまでもお元気でね 地区高齢者に手袋贈る

車門自治会（本宮正志会長）は2月17日、高齢者の自宅を訪ねる友愛訪問を行いました。

本年度新たに活動に加わった子供たちと、自治会の役員が地区内の75歳以上の高齢者約40人の家庭を訪問。一人一人に「いつまでも元気にお過ごしください」と、声を掛けながら手袋を贈りました。孫やひ孫の世代からプレゼントを受け取った高齢者は「寒い中、ありがとうございます」と感謝していました。



高齢者を訪ねて手袋を贈る中学生。円内は、トラクターとスコップで除雪作業奉仕をする自治会役員

サッカー大好きキッズ フェスティバルで歓声

体を動かすことの楽しさを知ってもらおうと2月17日、町社会体育館で「キッズサッカーフェスティバル・inくずまき」が開催されました。町内のほか久慈市など近隣町村から、8歳以下の子どもたち約130人が集合。6歳以下の子どもたちは、ボール遊びから始め試合にも挑戦。必死にボールを追い掛け、ゴールをねらいました。会場には父母らもたくさん訪れ、子どもたちのハッスルプレイに歓声が沸いていました。



ボール遊びはみんな大好き。サッカーをやったことのない子どもも、体を動かす楽しさを学んだキッズサッカーフェスティバル

災害時の燃料はお任せ 石油業者と協定で万全

町は、もしもに備えた「災害時における応急対策用燃料及び応急対策用資機材の調達」に関する協定を2月6日、岩手県石油商業協同組合盛岡支部長と締結しました。

協定は、災害時に一般消費者に優先し町の災害対策用燃料を供給することや、災害発生直前の契約単価で供給することなどが盛り込まれています。「備えあれば憂いなし。有事にも安心です」と鈴木町長が感謝の言葉を述べ、町の安心がまたひとつ増えました。



宮田謙・岩手県石油商業協同組合盛岡支部長代行（右）と協定書を交わし握手する鈴木町長

笑顔の社風つくろうと 職場活性化研修会開催



町の誘致企業・アパレル中央株（中森照幸社長）は2月21日、従業員33人が参加してグリーンテージで職場活性化研修会を開催。笑顔のある職場とコミュニケーションの大切さを学びました。「意識改革することで目標が明確になり、能率も上がる」と参加者から大好評の研修会になりました。



町商工会サービス業部会（赤坂敏行部会長）は2月14日、「地産地消メニュー開発セミナー」を開催。飲食店など会員ら約30人が参加しました。町の食生活改善推進員を講師に雑穀を利用したハンバーグや洋風茶碗蒸しなどに挑戦。「町の魅力を高め、誘客を図りたい」と、意欲満々。

町の看板メニューに 商工会がセミナー開催